

生駒市学校教育のあり方検討委員会
学校規模適正化部会
令和元年度第5回（第10回）会議 会議録

開催日時 令和元年9月17日（火） 午後2時から

開催場所 生駒市役所 4階 401会議室

出席者

（委員） 前田部会長、松尾委員、岡島委員、山中委員
（事務局） 真銅教育振興部長、辻中教育総務課長、山本教育総務課課長補佐、
前田教育指導課課長補佐、牧井教育総務課庶務係長

（傍聴者） 0名

欠席者

（委員） 高島委員、大谷委員

1 案件

(1) 前回会議での主な意見の確認

（前田部会長） まず、事務局より「資料1 前回会議での主な意見のまとめ」について、説明いただく。

（事務局） 【資料1の説明】

（前田部会長） 何かご意見等はないか。

無いようなので、次の案件に移らせていただく。

(2) 「望ましい」学校規模について

（前田部会長） 事務局から資料について説明いただく。

（事務局） 【資料2の説明】

（松尾委員） これはあくまでも基準であろうかと思う。

基準はあくまでもこうだが、実際はどうするのかということが重要になってくるので、今後の検証の過程で検討していくことでよろしいか。

（前田部会長） その通りである。

文言について、(2)の③において、「児童・生徒の移動等の面において」とあるが、これは学校全体が行事で何かするというものの理解でいいのか。大規模校であると、行事等の移動の際に混雑するといったことを意味しているのか。

(事務局) その通りである。適正規模以上になると、学校単位や学年単位での活動の際に体育館への移動や遠足での移動において、支障が出てくるということである。もし、分かりにくいのであれば、表現を修正させていただく。前回の会議において、遠足での移動の話があったかと思う。

(松尾委員) 小規模校に対する考え方なのか、大規模校に対する考え方なのか少し分かりにくいところがある。

(前田部会長) 前段は小規模への考え方で後段が大規模への考え方になっている。やはり、大規模になると移動等が難しいものなのか。

(山中委員) やはり、大規模になると施設が受け入れしてもらえないということもある。バスの台数が増え、駐車場所に困ることもある。一方で修学旅行も小規模になると旅館が受け入れしてくれないところもある。音楽会に保護者を呼ぶとなると体育館のキャパシティの問題から、大きなホールを借りたり、入れ替え制を採ったりしたりもする。

(前田部会長) 後段部分が少し分かりにくいので、文言の修正が必要ではないかと思う。

(山中委員) ⑤も大規模校の場合の考え方かと思うが、やはり、大規模校の場合といった文言を入れた方がいいのではないか。

(前田部会長) それぞれに小規模校に対する考え方なのか、大規模校の考え方なのかを明確にした内容に修正いただいた形をもって、基準については決定するというものとさせていただく。

(3) 学校規模適正化等検討に当たっての評価項目等について

(事務局) 【資料3の説明】

(前田部会長) 前回会議での意見を踏まえ、事務局にて修正いただいたが、何かご意見等はないか。

(松尾委員) 評価項目について、小中一貫教育の推進において、資料5の検証シートを見ると、多くの学校で課題があるとなってい

る。これをどうするのかといったことが今後検討していくことになろうかと思う。

(事務局) 施設一体型であれば、問題はないのかと思うが、やはり施設分離型となると移動の面で課題があるということになるので、このような評価にならざるを得ない。

(松尾委員) 小中一貫教育を推進していくということであれば、やはり施設一体型がいいということなのか。

(事務局) 昨年度に策定いただいた小中一貫教育の方向性においても、施設隣接型や施設分離型と比較した場合、効果としては一番多くなっている。

(岡島委員) 2040年の学校規模について、小学校だけでなく、中学校も評価しているのであれば、評価も「小学校がある。」という文言ではない方がいいのではないか。適正な学校規模の確保の特に望ましい状態のところで、「見込みである」との記載があるので、表現を合わせるのはどうか。

(前田部会長) 校区全体ではなく、各学校を評価しているのであれば、表現を改める方が良いと思う。

(事務局) ご指摘いただいたとおり、表現を修正させていただきます。

(前田部会長) その他の点において、何かご意見は無いか。

(山中委員) 最下段の学校周辺の公共施設(図書館、プール等)の活用について、休み時間は5分間や10分間など様々であり、休み時間となるとかなり厳しい印象を受ける。

(前田部会長) 何か適切な表現はないか。今回は隣接、近接という文言が分かりにくいということで表現を修正していただいたが、いかがか。

(山中委員) 生駒南第二小では、実際にきらめき(井出山屋内温水プール)を使用しており、移動時間そのものは5分程度ではあるが、準備等の時間も必要となってくる。

(前田部会長) 実情に合わせた形ではなろうかと思うが、どのような表現がいいか。

(事務局) 「休み時間を利用して」という表現はいかがか。

(前田部会長) 実際移動される際はどうか。

(山中委員) 実際は2時間分を確保して、利用している状況である。授

業時間を潰さないということとはできない。

- (前田部会長) 校時を変えずに活用するというイメージとして、休み時間というのが分かりやすいということかとは思いますが、「休み時間を利用して」という表現でいかがか。「休み時間内に」という表現よりは幅が出てくることから適切ではないかと思う。
- 他にご意見等はないか。
- 無いようなので、ご意見いただいた点について修正いただいたものをもって、評価項目として決定したいと思う。

(4) 学校規模適正化等の検討に当たっての前提条件について

(事務局) 【資料4の説明】

(山中委員) 検討に当たって、非常に制約が多い印象を受ける。通学区の変更については、まったく検討しないということと、中学校については、まったく検討しないということなのか。

(事務局) 中学校区についての検討を行うとなると、非常に多くのパターンが生じることとなり、時間的にも検討することが困難になってくることから、中学校については、今の校区をベースにご検討いただければと考えている。

(山中委員) すべての中学校について、検討することは非常に困難であることは分かるが、点数が低い中学校のみを検討することは必要なのではないか。中学校でも点数が低かったところがあるが、生駒南中学校は点数が30点という評価ということで、何も議論しなくてもいいのか。生駒南中学校の活性化のためにも何らかの検討ができればと思う。

(松尾委員) 南地区には、大瀬中学校と生駒南中学校があるが、部活動ではいびつにはなっている。生駒南中学校については、何らかの検討が必要であると思う。

(前田部会長) 生駒南中学校については、やはり検討していく必要があるというご意見があるがいかがか。どこまで検討していくのかにもよるかとは思いますが。

また、前提条件において、縛りが多過ぎることかとは思いますがいかがか。

(山中委員) 北小中学校については、検証しないということだが、検証

シートもない。検証はしなくても、検証シートはあってもいいのではないか。

(前田部会長) 前提条件と検証シートについて、何か変更すべき点はないか。

では、検証をしていく中で、併せて前提条件についても変更を加えていくということでしょうか。例えば、生駒北小中学校については、個別の検証していく中で、結果的に既に施設一体型の小中一貫校ができていますので、検証の対象から外すことになろうかと思う。できる限り前提条件を外し、個別に検証していく過程で、生駒南中学校についても、低い点数の中であっても、何か活性化するための手立てを検討していくことができるのではないか。

通学区域については、特に前提条件に入れておくべきことであると思うがいかがか。地域コミュニティがある以上、そこまで踏み込んで議論を行うのは難しいのではないかと考えている。通学区域については検討することなく、中学校区の各小学校について、検討を進めていくということではいかがか。

(松尾委員) 通学区域の変更は、適正規模の観点から検討すべきとは思いますが、様々な制約があり、現状ではやむを得ないと思う。しかし、生駒南第二小学校区である北小平尾の子どもたちは隣接校選択制を使って、ほとんどの子どもたちが生駒南小学校に通っており、自治会との整合性が取れていない。やはり、このようなことを考えた場合、通学区域についても、検討していくべきではないかと考えている。

(前田部会長) 松尾委員のご指摘のようなことは市民の方もお持ちであろう。どこまで議論していくのかということについては、委員会としても、通学区域の変更についてまで結論を出していくには至らないのではないかと考えており、やはり前提条件に組み込むべきことである。前提条件として、通学区域については議論しないということを示した上で、各中学校区を検討していくということを委員会のスタンスとして、はっきりしていくことが必要ではないかと思う。

通学区域については、検討しないということで、北中学校を含め、各中学校区単位で検証シートを用いて検討していくことで、いかがか。前提条件についても、個別の検討の中で、変更を加えていくということでいかがか。

(山中委員) 今回の資料を見た際に、生駒南第二小学校について統廃合を検討しなければならないと感じた。

どのように検討を進めていくかは分からないが、もし仮に生駒南第二小学校を生駒南小学校と統合した場合、中学校はどうか。中学校が二つに分かれてしまうことから、最終的に議論になってくるとは思うので、中学校区の検討をしていかなければならない。また、今の校区がそのままであれば、生駒南中学校は何も変わらないので、これについても活性化のために検討が必要になってくるのではないか。最終的に萩の台地区をどこの学校に持っていくかに関わってくることから、逆に足かせになるのではないか。南小に行っている子も大瀬中にいく子がいるので、その辺も検討しなければならないのではないか。結論として、校区はこのままでいこうというのはありうるとは思うが、やはり南地区全体で考えていくのであれば、校区のことも検討していかなければならないと思う。

(岡島委員) 今現状でできないものはできないということで、第一歩として示していくということであれば、いいのではないかとはいえる。細かいところまで検討をすればするほど、難しい部分はあるかと思う。まずは現時点での評価を示していくということでは仕方がないのではないかと考えている。現時点では低い点数を改善することが現実的に不可能な場合もある。結論の出し方にもよってくると思うが、委員会として出せる結論の範囲で出していければいいのではないかと思う。

(松尾委員) 検討の範囲の線引きをしっかりとっておかなければならない。資料を見た際に生駒南第二小学校をどうにかしないといけないうことがはっきりしているので、委員会としては問題提起した上で、教育委員会で検討いただくということであればいいと思うが、自治会長としてはやはり校区を変えてい

かなければならないとは考えている。

(前田部会長) これから個々の中学校区を検討していくこととなるが、やはり一定の前提条件を持っておくべきであると思う。一定の共通理解のもとに、検討を進めていくことができればと思う。確かにその中で特に南地区については、通学区域の変更についての議論をするかどうかということが出てくるとは思うが、いかがか。委員会としての意見は出せるとは思うが、現実的に教育委員会の示唆となるようなものにしておく必要がある。新たな校舎を建設すると答申したとしても、予算の制約から現実的でないと意味がないのではないか。

(山中委員) とりあえず前提条件として挙げておいて、個別の検討の際に改めて検討するというのでいいのではないか。

(松尾委員) 検証シートを見る限り、南地区だけが問題なのであって、他の地区は特に問題ないように感じるが、検討する上ではやむを得ないと思う。

(前田部会長) では、生駒北小中学校についても検討を行うこととし、前提条件としては、「○その他」の条件を削除することとした上で、いったん前提条件をこの内容で決定したいと思う。

(5) 各中学校区における検証について

(事務局) 【資料5の説明】

(前田部会長) 特に評価の部分について、何かご意見はないか。

(事務局) 補足として、桜ヶ丘小学校については生駒小学校区と俵口小学校区の児童が隣接校選択制を利用して通学しており、推計については、隣接校選択制については読めないことから、反映できていない。以上のことから、若干の児童数の増減があることはご承知おきいただきたい。

(松尾委員) 他の校区も同様ということでもいいか。

(事務局) その通りである。注釈で隣接校選択制については加味していない旨をシートに明記させていただこうかと思うがいかがか。

(前田部会長) ではそのように修正をお願いしたい。1点確認だが、各校区に対する意見についてはどのようにまとめられる予定なの

か。小学校適正規模確保の必要性の有無については、点数だけでなく総合的に判断して、評価されているものであろうかと思うが、シートや答申に判断した根拠を示しておく必要があるのではないか。

(事務局) シートとは別に答申の中でご意見をまとめさせていただきたいと考えている。

(前田部会長) では、必要性の有無についても、部会として判断した根拠となるご意見をいただければと思う。

生駒中学校区については、推計を見ても分かるように中学校と小学校それぞれにおいて、将来にわたって学校規模が維持されるということで、安定的な学校運営がなされ、教育の質の確保がなされるであろうかと思う。安全性においても、特に問題はない。小中一貫教育の推進については、△となっており、形態としては施設分離型となっているが、いかがか。

(山中委員) 部会として、昨年度小中一貫教育の方向性を決定していることから、それに基づいて進めていただきたいということではないのではないか。

(前田部会長) では、生駒中学校区については、そのような内容を評価としたいと思う。もし、他の校区についても、評価の段階で特筆して示しておかなければならない事項等があれば、他の校区についても、コメントを付け加えていきたいと思う。

(6) その他

次回会議は10月10日(木)午後2時から開催

以上